

人の魅力に、人は集まる。

株式会社 幸せのカカンパニー 代表取締役

内山 正宏

PROFILE

Masahiro Uchiyama

1974年、福井県生まれ。高校生の時、炉端焼き店でアルバイト。調理師専門学校を卒業後、ホテルレストラン、東京の老舗料亭を経て、銀座の居酒屋で料理長を経験。現・てっぺん代表の大嶋啓介氏と起業。2006年独立。居酒屋甲子園理事。阪神タイガースの大ファンでもある。

きっかけは、少年の頃出会った
炉端焼き店主の人柄

子供の頃に体験した飲食の想い出が、その後の人生に大きな影響を及ぼすことがある。内山社長の場合も、将来の方向性を決定つけたのが子供の頃、家族でよく行った炉端焼きの店主の人柄に憧れたのが大きなきっかけになっている。

「ファミリールレストラン全盛の時代、エリアの人々がこぞって集まるこの店の魅力は、明らかに店主の人間性でした。元気のいい声、自然な笑顔、子供だった自分にも気遣って声をかけてくれる優しさ。そうした人間力で人々を魅了していたのが、子供の自分でもなんとなくですが分かりました。人は、人の魅力のもとに集まってくるんだなって。それで、高校生になった時、この店でバイトさせてくださいとお願いしたんですね。それが飲食業との出会いです」

それから起業するまでの間、内山氏の関心事は常に「人」だった。

例えば、就職したホテルレストランの先輩で魅力的だと思う人は、サラリーマン化されていない、型にはまらないタイプの人だった。高級料亭での丁稚奉公時代も、料理長として活躍した銀座の居酒屋時代も、マネジメントや料理技術より「人」に関心があつた。「他人ばかりを見つめるんじゃないで、自分自身もいつも批評の対象にしていますよ。〈親方に怒られないように仕事をしている自分がいるぞ、こんなではダメだ〉とか、〈組織に対して不満ばかり言っている自分がいる。今は冷

静に改善点を探すべきだとかね」

内面から輝いている人が魅力的だという考え方は、やがて大嶋啓介氏と起業した「てっぺん」で始まり、伝説となった「本気の朝礼」となる。

スタッフが「夢」や「感謝」などをテーマに1分間語るスピーチ訓練、自分になりたい人間像を大きな声で宣言するナンバーワン宣言といった今までにないスタイルの朝礼は、各メディアでも取り上げられるほどの話題となり、内山氏が独立後立ち上げた「株式会社 幸せの力カンパニー」でも継承している。

京都でお世話になるために、京都に引っ越してしまおう本気度

学生やサラリーマンが酒の力を借り、日々のうつぶんを晴らすようにグチをこぼす。そんなシーンがこれまでの居酒屋にはあったが、内山氏はもっと楽しいシーンが繰り広げられる店を創ろうと考えた。創業時のテーマは、「グチではなく、夢を語る居酒屋」だ。「居酒屋は夢を語る憩いの場であってほしいですね。そういう場にしたいのなら、まず私たちスタッフ側がそう

いう人間にならないとダメだと思っただけです。スタッフが店の裏でグチをこぼすようなお店は、そういう空気が充満してしまうもの。そこを変えていくために創った仕組みが「本気の朝礼」なんです。スタッフが何らかのひとつ世界を「てっぺん」になるようなナンバーワン宣言をしてもらっています。何でもいいんですよ、〈全力で楽しむ世界一〉とか「輝きを与える男世界一」とかね。夢を語りあえる社内が確立すれば、各店舗の空気感も大きく変わります。するとお客様もスタッフたちのオーラに影響を受けるようにして、グチより夢を語る場所としてうちの居酒屋を利用してくださるようになります。そういういい循環を創っていきたいですね」

起業時、中目黒の「なかめのとっぺん」と京都の「むげん 烏丸店」のオープンに向けての準備を同時進行していた。東京と京都、ふたつの都市を行き来する毎日。東京のことは知り尽くしていたが、京都は異国のような場所だった。「歴史と文化の街、古都・京都に居酒

屋を出店するのに、京都を知りもしない私のような人間では人々に受け入れていただけないと思いました。それで京都に住むことにしました。京都の人間になれば、ご近所の人々ともコミュニケーションが取れると思って。で、実際に引っ越しして、暮らしてみると素晴らしい食文化を実感でき、人々もとても優しいんです」

本気度が違う。京都に敬意を払い、人々と深く関わっていくために、引越しまでしてしまおうという判断と実行力。この本気度が、組織全体に蔓延している。だから各店舗のスタッフたちも、本気度が高いのだ。

人を預かるという責任から、スタッフの両親とも会う

魅力的な人のもとに人々が集まることを知った少年時代から、飲食企業のリーダーとなった現在も、内山氏のテーマが「人」であることに変わりはしない。スタッフたちとのコミュニケーションも、社長と社員という関係を越えて、同じ人間として深く付き合うことにしている。

例えば、こんなエピソードがある。「なかめのとっぺん」の堺裕美店長は、もともと京都「むげん 烏丸店」でアルバイトをしていた。就職するためにア



ルバイトを辞めようとした時、内山氏はうちに就職しないかと、引き留めにかかる。そして京都のご両親に連絡を取り、3者面談を行うことに。

「きちんとした企業に就職させたいと思っていたご両親にとっては納得いかないわけです。だから素直に会社のビジョンを説明し、〈娘さんを預からせてください〉という気持ちで必死に伝え、なんとか理解していただきました。その後、グルメキャリーの表紙に堺裕美を撮影していただきました。その号をご両親にお持ちしたんです。そうしたら、小さく笑顔を見せてくださいました」

今後のビジョンについて尋ねると、やはり人がテーマになっていた。「アジアへの出店を考えています。日本のおもてなしの心や飲食業の素晴らしさを伝えていきたいんです。また、国内においては生産者とお客様との距離感を縮めるためのパイプ役になりたいと考えています。実は、京都に次の店を計画しておりまして、着物姿の女将がおもてなしする京都らしい店をやりたい。その女将役に堺裕美を起用しようという計画です。ご両親にとっても安心でしょう」

ファミリレストラン全盛の時代にも関わらず、家族連れで賑わっていた炉端焼き。炭火の前で笑顔を振りまく親方の人柄に憧れて飲食の道を歩んできた内山氏。今、あの頃の夢を東京と京都でカタチにしている。「ファミリーにもご来店いただいております。お嬢さんが「てっぺん」行こうよとパパの手を引いて来てくれるんです。最高に嬉しい瞬間です！」

株式会社 幸せの力カンパニーの歩み

2006年8月	京都に「むげん 烏丸店」オープン
2006年9月	「なかめのとっぺん」オープン
2006年10月	京都に「むげん 寺町店」オープン
2008年12月	「ふたつめ」オープン

現在、東京と京都に4店舗展開中

株式会社 幸せの力カンパニー 店舗情報

■なかめのとっぺん

住所 東京都目黒区上目黒3-9-5
プラージュメグロ1F
電話 03-5724-4439
営業 18:00～翌3:00(LO翌2:00)
休日 年中無休
交通 各線中目黒駅徒歩1分

■むげん 烏丸店

住所 京都府京都市中京区烏丸蛸薬師上る
七観音町637 第41長栄カーニープレイスB1F

電話 075-279-0025
営業 月～金 18:00～24:00(LO23:00)
土日祝 17:00～24:00(LO23:00)

休日 年中無休
交通 烏丸線四條駅徒歩3分

■むげん 寺町店

住所 京都府京都市中京区寺町通四條上ル
中之町559 菊水ビルB1F
電話 075-253-0280
営業 17:00～24:00(LO23:00)

休日 元日
交通 阪急京都線河原町駅徒歩2分

■ふたつめ

住所 東京都目黒区上目黒3-9-5
プラージュメグロ1F
電話 03-3712-2022
営業 17:00～翌2:00(LO翌1:30)
休日 年中無休
交通 各線中目黒駅徒歩1分

<http://www.shiawase-c.com/>



取材店舗 / なかめのとっぺん

同社に興味を持たれた方は「●●●●●」をご覧ください。